



日本骨髄バンクの現状（平成 26 年 12 月末現在）

	11 月	12 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,453	2,107	449,531	628,637
患者登録者数	200	239	2,593	43,727
移植例数	118	99	—	17,741

■12 月年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,521 人
20 代	71,339 人
30 代	146,624 人
40 代	181,127 人
50 代	47,920 人

■12 月の 20 歳未満の登録者 198 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■12 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／594 人、献血併行型集団登録会／1,409 人、集団登録会／65 人、その他／39 人

■12 月末までの末梢血幹細胞移植（PBSCT）累計数：87 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

■骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数）1,120 人 ■DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）648 件

■国際協力の現状（2014 年 10 月～2014 年 12 月）

<海外ドナー⇒国内患者> 移植数 0 件：累計移植数：181 件

<国内ドナー⇒海外患者> 提供数 4 件：KMDP 2 件、NMDP 2 件：累計提供数：241 件

1 平成 26 年の移植数およびコーディネート状況について

平成 26 年 12 月末現在の累計移植数は 17,741 件（うち PBSCT は 87 件）になりました。平成 26 年 1 月～12 月の移植数は 1,332 件（国内ドナー⇒国内患者：1,319 件、海外ドナー⇒国内患者：2 件、国内ドナー⇒海外患者：11 件）でした。平成 25 年の件数（合計：1,360 件、国内ドナー⇒国内患者：1,343 件、海外ドナー⇒国内患者 4 件、国内ドナー⇒海外患者 13 件）と比べ、総数で 28 件減少し、前年比 98% でした。PBSCT は 54 件で、前年（18 件）と比べて 36 件増加しました。

コーディネート件数は、確認検査数が 5,711 件（前年 5,606 件、前年比 102%）、最終同意が 1,639 件（前年 1,656 件、前年比 99%）でした。骨髄採取のコーディネート期間について、ドナーコーディネート開始から採取までの中央値は 122 日で、前年の 126 日より 4 日短縮しました。一方で、末梢血幹細胞採取のコーディネート期間の中央値は 107 日でした。

ご提供いただいたドナーの方をはじめ、採取施設の担当医師、調整医師の先生方やコーディネーターの方々、その他多くの関係者のご尽力とご協力に改めて感謝を申し上げます。

2 平成 26 年のドナー登録者数について

平成 26 年 1 月～12 月の新規ドナー登録者数は 27,580 人でした。平成 25 年の 33,893 人に比べ 6,313 人少なく（前年比約 18% 減）、2 年連続減少という厳しい結果となりました。

都道府県別では東京都の 2,179 人が最多で、続いて神奈川県 2,049 人、青森県 1,509 人となっています。神奈川県では平成 25 年度から緊急雇用対策として県内 2 カ所の献血ルームへ説明員を派遣しており、平成 24 年の 789 人から平成 25 年 1,306 人、平成 26 年 2,049 人へと着実に登録者数を伸ばしています。青森県は献血併行型ドナー登録会、とりわけ平日の登録会が大幅に増えたことが要因です。窓口別では献血併行登録会での登録が約 64% を占め、献血ルームでの登録が約 32% となっています。

ご登録いただいたドナーの方々をはじめ、ドナー登録推進にご尽力いただいた説明員の方々、その他多くの関係者の方々に厚く御礼申し上げます。今後は特に若年層のドナー登録を推進していくことが喫緊の課題です。関係各位のさらなるご尽力をよろしくお願いします。

3 「医療用 iPS 細胞ストック構築に関する研究」への協力について

日本骨髄バンクはこの度、京都大学 iPS 細胞研究所が行う「医療用 iPS 細胞ストック構築に関する研究」に協力することになりました。

上記研究は、近い将来、iPS 細胞を細胞移植医療へ応用するための極めて重要な基盤構築となる研究であり、これまでの治療法では病状改善の望めないような難病や外傷に苦しむ多くの患者さんへ一条の光となりうるものと期待されています。従って、日本骨髄バンクの「白血病等の血液難病に苦しむ人達を救済する」という事業目的と共通するものと考えます。

つきましては、これまでに骨髄・末梢血幹細胞提供にご協力いただいたドナーの方々のうち、取り消されたドナー、保留中などのドナーを除いた方々に「医療用 iPS 細胞ストック構築に関する研究」への協力に関するご案内を順次お送りする予定です。

今回の協力を決定するにあたり、日本骨髄バンクでは倫理委員会ならびに、業務執行会議の承認を受けています。

4 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について（12/31 現在 85 施設）

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。

・採取施設	・移植診療科
市立函館病院	同左 血液内科

新規認定施設については、当法人ホームページ>患者さんへ>移植認定病院およびドナー登録されている方へ>面談施設一覧でもご覧いただけます。

5 新たに 6 市町でドナー助成制度を導入

骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度が新たに下記 6 市町で導入され、全国で 94 自治体になりました。同制度の拡大によりドナー登録の推進やドナーが提供しやすい環境整備につながることを期待されます。なお助成内容は各自治体によって異なりますので、直接お問い合わせください（ホームページに制度導入自治体の一覧を掲載しています）。

【新たにドナー助成制度を導入した自治体】

○我孫子市(千葉県) ○泉佐野市(大阪府) ○松伏町(埼玉県、以下同) ○三芳町 ○八潮市 ○和光市

6 日本医学会総会 のイベント「未来医 X P O' 15」に日本骨髄バンクが参加

4 年に一度開かれる国内最大規模の医学系学会「日本医学会総会」では“あなたの暮らしと医の博覧会”をコンセプトに、最新の医学・医療の成果と未来を体験できる参加型イベント「未来医 X P O' 15」（3 月 28 日～4 月 5 日）を開催することになり、当法人もこのイベントに参加します。3 月 28 日（土）の午後、神戸国際会議場メインホールにおいて、テレビやミュージカルで活躍中の、はいだしょうこさんによる絵本の朗読のイベントを開催するほか、4 月 3 日（金）には神戸国際会議場において献血併行型ドナー登録会を開催予定です。多くの方々のご参加をお待ちしています。

7 「地区普及広報委員及び説明員再委嘱」と「説明員研修会」について

平成26年度説明員研修会の開催については前号でお知らせしましたが、出欠回答書を返信されていない方は至急お願いします。また、地区普及広報委員及び説明員の皆さまに平成27・28年度再委嘱手続きの案内を送付しております。回答締切は1月30日（金）必着（郵送のみ）です。未返送の皆さまにおかれましては、早めのご返送をお願いします。

8 映画「迷宮カフェ」、3月7日よりロードショー公開

骨髄移植という題材を軸に、サスペンスとユーモアを交えて紡ぎ出す、心癒されるヒューマンドラマ「迷宮カフェ」は、骨髄バンク普及のため平成23年に発足した「骨髄バンク普及映画を作る会」によって企画され、本年3月7日（土）より角川シネマ新宿他でロードショー公開されます。

ヒロインのマリコ役に2005年毎日映画コンクール・スポニチグランプリ新人賞に輝いた関めぐみ、マリコのカフェの常連客として市川由衣、藤原薫、角田信朗が出演します。監督はデビュー作『エンブテュー・ブルー』が海外でも評価された帆根川廣です。

詳細はホームページでご覧いただけます。[\(http://www.meikyu-cafe.com/\)](http://www.meikyu-cafe.com/)

9 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
医療委員会	公開・一部非公開	1月17日（土）13：00～15：30 廣瀬第1ビル2階会議室
臨時評議員会	公開・一部非公開	1月20日（火）16：30～17：00 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	1月20日（火）17：30～19：30 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	2月20日（金）17：30～19：30 廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

10 ドナー適格性判定基準（BMT/PBSCT）一部追加について＜調整医師の方へ＞

以下基準が一部追加となりました。

P47 【感染症、性病、寄生虫疾患】

<旧> 基準：B

その他 (1) ピアス →

以下、患者主治医判断

・他人と器具を共用した場合

<新> 基準：B

その他 (1) ピアス

以下、患者主治医判断

・1年以内に他人と器具を共用した場合

11 「2015 年 台帳登録と TRUMP2 開始のご案内」について<移植医師の方へ>

一般社団法人日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）／日本造血細胞移植学会（JSHCT）から発出された「2015 年 台帳登録と TRUMP2 開始のご案内」でお知らせしたとおり、「第二世代移植登録一元管理プログラム（TRUMP2）」が1月15日にリリースされました。2015 年度台帳登録前にご施設の移植症例登録一元管理プログラム（TRUMP）を、**第二世代 TRUMP（TRUMP2）へバージョンアップ**していただきますようお願いいたします。

○「台帳登録」の提出がありませんと、原則として施設認定が更新されません。

○ 台帳登録提出期限（2月20日）までに必ずご提出くださいますようお願いいたします。

※ 詳細は、JDCHCT ホームページをご参考ください。（<http://www.jdchct.or.jp/trump/>）

12 連絡事項

◆調整医師再委嘱手続きについて<調整医師の方へ>

マンスリーJMDP12月号でご案内したとおり、平成27年度調整医師再委嘱手続きが必要な先生方に対して、更新書類を1月下旬以降順次発送します。異動等のご予定がある先生方は、お早目にドナーコーディネーター部または地区事務局にご連絡ください。

◆非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設の認定更新調査について

<採取認定施設の医師の方へ>

平成27 年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設の認定更新調査を開始しました。ご返送いただく書類は以下のとおりです。

- ① 平成27年度非血縁者間<骨髄>および<末梢血幹細胞>採取施設の認定更新調査票（病院情報）
- ② 各委員会《輸血療法委員会・感染症対策委員会・安全管理（医療安全・事故対策等）委員会》の議事録

※直近開催のもので開催日・開催場所・出席者の記載があれば内容は必要ありません。

- ③ 認定証の発行について（お伺い）

※末梢血幹細胞採取施設においては書類④へ採取症例詳細をご記入の上、合わせてご返送ください。

- ④ 『同種末梢血幹細胞採取症例報告(2013/1～2014/12)』

※昨年より各施設に、『自己血専用保冷庫』並びに『感染血専用保冷庫』の設置をお願いしておりますが、現時点において設置確認が終了していない施設につきましては、書類⑤を同封しておりますので、こちらも合わせてご返送ください。

- ⑤ 『自己血専用保冷庫』並びに『感染血専用保冷庫』設置状況確認報告書

該当施設の関係者の皆さまには、お忙しいところお手数をおかけしますが、提出期限に遅れないようご協力のほどよろしく申し上げます。

■提出期限：2月5日（木）

- ◆「確認検査行程期間短縮に向けたワーキンググループ」答申書パブリックコメントの送付について
お寄せいただいたパブリックコメントを集計しましたので別紙ご参照ください。コーディネーター・医師の方へお送りします。

- ◆ブラッシュアップ研修会の出欠と事前質問募集について<コーディネーターの方へ>
 - マンスリーJMDP10月号でご案内のとおり、3月7日(土)～8日(日)、神戸市で第20回コーディネーターブラッシュアップ研修会を開催します(6日は移動日)。2日間の出席を原則としますが、欠席される方と、7日の13時45分からの参加となる方は、1月30日(金)までに地区事務局経由でドナーコーディネート部にご連絡ください。ブラッシュアップ研修会の詳細についてはマンスリーJMDP2月号でご案内します。

 - ブラッシュアップ研修会で下記2名の先生方の講義を予定しています。事前に質問を募集しますので、2月3日(火)までに、ドナーコーディネート部宛てにFAX(書式自由：03-5280-5580)で質問をお寄せください。当日は質問者の氏名は公表しませんが、質問用紙には地区名・氏名を明記してください。
 - (1) 3月7日(土)「遺伝カウンセリングの現場から」
お茶の水女子大学・大学院人間文化創成科学研究科・助教
四元淳子(よつもと じゅんこ)先生
認定遺伝カウンセラーでもある四元先生に遺伝子や遺伝子検査についての知見や血液疾患との関係、また、出生前診断や乳がんの遺伝子検査などで来談者に接する専門家のお立場から、コーディネートの対応に関するアドバイスもいただく予定です。

 - (2) 3月8日(日)「非血縁者間末梢血幹細胞移植の今後」
大阪市立大学医学部附属病院・血液内科・造血細胞移植科・教授
日野雅之先生

- ◆2014年コーディネート実績について
今号では、毎号掲載している「コーディネート件数(月次データ)」の他に、「コーディネート件数(2014年実績)」「コーディネート期間(2014年実績)」を同封します。